



パワー浜松ロータリークラブ週報 2015年1月13日号 本年度テーマ: Rotary Mind、Rotary Wayを確認しよう～ 心で感じて・考えて・活動しよう～

パワー浜松ロータリークラブ (2014-15 年度会長: 小林昭次)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp
創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC



第564回例会 1月13日 AM7:30～8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 市川正良、鈴木和行 ●点鐘: 小林昭次
- ロータリーソング: 奉仕の理想
- ゲスト: 米山記念奨学生 暢婉君さん
- 議事: ロータリー情報委員会「地区大会を通してファン・イン・チーさんから学んだこと」

<出席報告> 本日出席率60名 75% 前々回出席率76, 82%

■会長挨拶



皆様おはようございます。昨年12月に年次総会が終り、来年度の知久年度の役員理事承認を経てクリスマスパーティー、新年会も無事終え、今日から予定者会議が始まるということで肩の荷が3分の1くらい下りたかな、という感じがいたしますが、あと半年あるので引き続き頑張っていきたいなと思います。

また当クラブの抱えている課題として収入と支出のバランスが取れていないという大きな問題があります。委員会活動にも現状にいくらかの支障をきたしています。もっと魅力のある例会にしていこうためには、残念ながら現状の収入ではなかなか大変で問題があります。これから6ヶ月の間に具体的に解決していきたいと思います。

具体的にいえば、収入を増やすという事ですから会費を増やす、あるいは会員を増やすということに尽きると思いますので、とりあえずぜひ皆さん、周囲で「この方は…」という方がいらっしゃったら、増強にご協力をお願いしたいなと思います。

今日一日よろしくお祈りします。

■委員会報告

ロータリー財団委員会 田淵さん加藤さん 未来夢計画PJについて
社会奉仕委員会 安間孝明さん ねむのきのカレンダー配布について
ゴルフ同好会 青山素久さん 青空例会について

■幹事報告

本日のレターボックスへの配布物は、建国記念日の案内チラシとゴルフ同好会の青空例会開催お知らせです。また、2620地区より地区役員への委嘱状が届いております。委嘱状をお渡ししますので西尾さんとジョーさん、小澤さんはご登壇下さい。

続きまして、国際ロータリーよりポール・ハリス・フェローの賞状とバッジが届いております。お名前をお呼びしますのでご起立願います。金山さん、鈴木和行さん、加藤恵司さん、中野敬司さん、安藤さん、坂井さん、田淵さん、滝浪さん、近藤さん、原田さん、福地さん、奥山さん、野田さん、小田木さん、塩谷さん、稲野さん、熊谷さん、小林さん、鈴木孝尚さん、林さん、知久さん、田中さん、岩本さん、森さん、鈴木利和さん、鷺津さん、山本さん、長谷川博久さん、加藤ひとみさん、坂本さん、竹林さん、高木さん。

代表で金山さんに賞状とバッジをお渡ししますのでご登壇下さい。

ポール・ハリス・フェローとは、国際ロータリーのロータリー財団に1,000米ドル以上の寄付をした人を称える認証です。当クラブは会費から年次基金の1000\$を寄付しています。確定申告用の領収書は届き次第メールボックスへ配布させていただきます。以上、幹事報告でした。

■スマイル

小澤邦比呂さん

本日は卓話の機会を戴きありがとうございました。諸星委員長はじめ情報委員会のメンバーの皆様にご挨拶いたします。また、ファンさんがスピーチしました地区大会のDVDがありますのでぜひご覧ください。本日はありがとうございました。

■ 本日の議事・卓話

ロータリー情報委員会「地区大会を通してファン・イン・チーさんから学んだこと」 小澤邦比呂さん

皆様おはようございます。

本日は、情報部会より卓話の機会を頂きましたこと大変感謝申し上げます。

さて、本年度地区米山記念奨学委員会委員長を務めさせて頂いておりますが、この委員長のお話は、岡本ガバナーからの突然の御指名でありました。

お引き受けするには大変迷ったわけではありますが、しかし今思えば、米山記念奨学委員会の活動は大変有り難い出会い、そして学びの場を提供して頂いたと思っています。

それは、昨年11月15・16日に行われた地区大会でホームカミング制度を利用して来日出席して頂きましたファン・イン・チーさんと出会えたことです。ファンさんは32年前に浜松北ロータリークラブに米山奨学生として静岡大学修士課程で機械工学を学ばれた方です。

ファンさんは、11月14日夕方グランドホテル浜松に到着致しました。ファンさんに夕食に行きましようかということで食事をしたわけですが、その時お酒を進めた所「お酒は飲みません。たばこも吸ったことはありません。」とのことでした。「どうしてですか？」と聞きましたら、「ビジネスも人間関係も“信頼・信用”が大事です、だからお酒もたばこもやりません。」とのことでした。

32年前の台湾という国のおかれた時代背景もあるかもしれませんが、「この世の中で一番手強い相手は自分自身である。自分に勝つ事が出来る人は無敵だ。」と言います。まさにファンさんは、自らを律するという意味では、とても強い自分を持っておられる方だと思つづく感じました。そして、夕食を早く終わらせ夜8時までに行きたい所があるということでした。それは32年前にファンさんのカウンセラーをして頂いた浜松北RCの今は亡き鈴木政治会員のご自宅でした。鈴木政治さんは一年前にお亡くなりになっていました。一刻も早くご自宅に出向き仏壇に手を合わせたい、感謝を伝えたいとの一心でありました。翌15日は朝寒い中、鈴木政治会員のお墓に出向きご住職に掃除の仕方を教わりながら、お水をかけ綺麗に拭き、お花を供えました。

私は、幼い頃祖父から聞いた話を思い出しました……。私達は、日頃宗教的教えから色々な事を学び人間形成が

なされてきたように思います。

ファンさんと3日間共に行動して一番感じたことは、先祖を大切にする、親を大切にする、そして人から受けた恩を大切にする、本当に日本という国に生かされているということでした。

台湾米山学友会の会報誌の表紙には必ずこの「ことわざ」が記してあります。それは「水を飲めば、その源を思う」という言葉です。何気なく飲む水だけれど、そうではなく自らの口に入るまでには色々な人の努力によって、恩によって飲めるまでになっている。だからこそ、その恩を忘れず、いつかは恩返しをする、そして、恩を直接受けた人以外にも恩を返すことが大切である。これは人としての道標であると思います。

ファンさんは11月16日地区大会の本会議が終了後東京に一泊し、翌17日朝一番の便で帰国しました。

17日朝9時頃私に感謝の電話をかけてくれました。公衆電話からでした。「また日本には大変お世話になりました。だから日本のコインで電話をしました。」と言いました。ファンさんは言葉だけでなく、何ひとつ、ごちなさもなく自然に体現されている、本当に誠実で謙虚で日本人よりも日本人らしい心をお持ちになっているとても素朴な方でした。

「水を飲めば、その源を思う」この言葉は人として忘れてはならないとても大切な言葉だと思います。以上でございます。

ご清聴ありがとうございました。

